

『ESD（Education for Sustainable Development） 推進のための次世代人材育成事業』 実施報告

日時：平成27年11月24日(火)

天候：晴れ 19℃

主催：一般社団法人 CSV 開発機構

内容：ごみの埋立地を緑地化する「海の森」は、世界で進行するごみ問題を持続的発展の視点で解決した先進事例と考えることができるため、この場を活かして ESD 推進のための第一歩となる取り組みを実施した。

まずは指導者（教師・親・PTA 等）が、そして子供たちが ESD 視点で海の森を体験し、アクティブ・ラーニングの実践として様々なものを主体的に学び取るプログラムを展開した。

ESD(Education for Sustainable Development)：持続可能な開発のための教育

現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む（think globally, act locally）ことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育です。